

木場潟公園の平成20年度管理状況

施設所管課	土木部公園緑地課
指定管理者	(財)木場潟公園協会 理事長 中野 誠太郎
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 ・従事員全員に対し、「あいさつ」を徹底 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用者アンケートの実施(延63通) ・利用者ニーズの反映(多目的広場の芝改善など) その他特記事項 ・自転車の貸出(有料)
利用の促進に関する業務	自主事業の企画・実施 ・菖蒲まつり(6月) ・キャンドルナイトウォーキング(9月参加2,100人) ・木場潟公園秋まつり(演奏会、パークゴルフ大会等) 施設の情報提供、広報、広告 ・自主企画のポスター配布 周辺地域、関係機関との連携・協力の推進 ・「木場潟を美しくする会」とクリーン作戦を実施 ・フローラの会と共同で花壇整備 ・木場潟再生プロジェクトと「木場潟環境フォーラム」開催 ・小松ライオンズクラブや国際ソフテニストの植栽活動への協力等
使用の許可に関する業務	使用許可、使用料の徴収、納入 ・使用許可の件数((2)参照) ・使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃、保守点検、警備、小規模修繕 ・電気時計ガラス取替 ・トイレの補修(ポンプ等取替、詰まり補修) ・サッカー場手洗水道修理
(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・遊具等の点検、安全管理の職員への教育

(2) 施設の利用状況

利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H19年度 (参考)	H20年度	前年度比	増減理由
公園利用者数(人)	298,000人	427,000人	143%	公園整備、健康志向による利用者の増

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
ｽﾀｼﾞｱ ｶﾞｰｽ 研修室	62	0	
ｽﾀｼﾞｱ ｶﾞｰｽ ﾗﾝﾃﾞｲﾝｸﾞ室	22	0	
サッカー場	97	0	
ふれあい広場	82	0	
北園地	52	0	

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

(円)

	収入額	減免額	減免理由
貸しポート	40,500	0	
温水シャワー	0	0	

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	38,033	人件費	7,630
利用料収入	40	光熱水費	4,936
自動販売機収入	2,741	管理費	26,471
		修繕費	968
		公課費 他	792
合計	40,814	合計	40,797
収支差額	17		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果（平成20年10月頃実施 有効回答数41件）

項目	回答				
	良い	概ね良い	普通	やや悪い	悪い
利用者サービス	51.0%	8.2%	32.7%	4.1%	4.1%
施設の維持管理	37.5%	15.6%	37.5%	6.3%	3.1%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
常時	トイレの改修要望	小規模補修を実施。
	園路の段差	県のH21年度予算対応
	潟淵の陥没	大規模な補修となるため県に要望

事故、故障等

年月	内容	対応
平成20年8月	車が車止を破損	原因者負担による修理
平成20年10月	ロードレースで負傷	応急手当の後、病院へ搬送

その他報告事項など

--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 利用者、地元と連携し多彩なイベントを開催、充実し、自主事業の積極的な広報活動の結果、利用者が増大し、42万人/年となった。 利用者とのコミュニケーションに努め、利用しやすい運営に努めている。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設内は常に清潔に保たれており、仕様書等に基づき適切な管理がなされている。 指定管理者自らが速やかに施設の改善、修繕に努めている。
適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 非常時の連絡体制が確立され、安全対策が適切である。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	A	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者が40万人/年を超え、多種多様な要望が多くなってきているが、公平公正な対応をしている。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的にあった適切な管理運営がなされている。協会ではインターネット等の通信施設が未整備のため、今後はIT化を進め、情報連携の強化を行いたい。

評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を上回っている
- B（良）：仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C（可）：仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D（不可）：改善が必要である

（ 7 ）助言・指摘事項

今後、ますます利用者の増加が見込まれるため、管理体制の強化やIT化の推進をお願いしたい。